



月見橋

見返り坂

湯の滝

湯けむり坂

シンボルゾーンの完成予想図

山野草のこみち小径や溪谷の景観スポット、滝湯やあずまやなどの施設が予定されています。

美泉定山って？

「定山溪」という地名は、定山溪温泉の開祖として知られる修験僧美泉定山にちなんで命名されています。

美泉定山は、文化二年（一八〇五年）備前国（岡山県）赤坂郡周匝村の繁昌院宮崎行辨の次男として生まれました。

若きころから真言密教の奥義を極めるため、霊山霊地の修行を重ね、蝦夷地（北海道）に渡って来たのは、嘉永六年（一八五三年）のことでした。

そして、蝦夷地を巡回し教化に努めていた慶應二年（一八六六年）、アイヌの人々に導かれ、ささやぶを進み、険しい山を越え川を登り、ある源泉にたどり着きました。この源泉が、今の定山溪温泉であり、美泉定山六十一歳の時でした。

幼名は「常三」でしたが、晩年開拓史から湯守を命じられたことを機会に、「定山」と改めています。その後、定山は温泉開発に力を注ぐこととなりましたが、明治十年（一八七七年）に張碓（小樽市張碓）でその生涯を終えたのです。

美泉定山ゆかりの品々は、現在も定山寺で見ることができまます。

新しい温泉街を

いま定山溪温泉街では、温泉街の活性化に向け、さまざまな事業に取り組んでおり、平成十七年（二〇〇五年）は、「美泉定山の生誕二百年」を迎えることから、記念事業として、シンボルゾーン整備の計画を進めています。

定山溪観光協会会長の古川善雄さんは、「かつて温泉街によく見られた浴衣姿の人びとが行き交うような風情ある**原風景の再現**をしたいです。

この地に与えられた**温泉**という健康資源に感謝し、お客様と地域で出会いとぬくもりを分かち合える場を創っていきたいと思います」と意気込みを語ってくれました。

すべて自噴？

① 全て自噴

定山溪温泉街には、それぞれ温泉を引いているホテルや旅館、企業の寮や保養所が多数あり、源泉の数は**約六十カ所**。それらはボーリングした



① 定山溪の源です

ものでなく、全て豊平川付近から自噴しているのです。

② 豊平町時代から

冬の温泉街には、歩道や車道に雪が無いと思いませんか。これは、地中に通したパイプに温泉を通してロードヒーターで行っているためで、その始まりは豊平町時代の昭和三十年代からです。

父親の代からロードヒーターの管理をし、十一月から三月にかけて、毎日朝夕二回欠かさず点検をしているのは森田興業所の森田貞雄さんです。森田さんは「循環させている温泉は**一分間に二キロットル**にもなり、温度が低下



② 手湯に足湯に湯の滝も

※トリビア 雑学的な事柄や知識。